

安全データシート

この安全データシートには、製品（パンパックス200）、主成分（塩化ジデシルジメチルアンモニウム）の情報を記載しております。ご混同されること無くご理解下さいますようお願いいたします

作成 2007年11月15日
改訂 2024年 3月25日

1 化学品情報及び会社情報

製品名 : パンパックス200

会社名（販売元） : ささえあ製薬株式会社
住 所 : 東京都品川区上大崎2丁目13番2号 フジタビル4F
担当部門 : 学術部
電話番号 : 03-5488-8808
FAX番号 : 03-3441-3030

会社名（製造販売元） : フジタ製薬株式会社
住 所 : 東京都八王子市栲田町1211
担当部門 : 東京工場 品質管理課
電話番号 : 042-661-5528
FAX番号 : 042-665-3239

2 危険有害性の要約（パンパックス200）

物理化学的危険性 : 該当なし
(記載が無い項目は区分に該当しない/分類できない)
健康に対する有害性 : 急性毒性（経口） 区分4
皮膚腐食性/皮膚刺激性 区分1C
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1
皮膚感作性 区分1
発がん性 区分1A
生殖毒性 区分1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分1（全身毒性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分2（中枢神経系）
(記載が無い項目は区分に該当しない/分類できない)

水生環境急性有害性 : 急性1
水生環境慢性有害性 : 慢性1
絵表示 :



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 飲み込むと有害
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
発がんのおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害（全身毒性）
長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ（中枢神経系）
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
注意書き（安全対策） : 取扱い後は手をよく洗うこと。眼には触らないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
ミストを吸入しないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
使用前にすべての安全説明書を入手し、読み、従うこと。
必要な時以外は環境への放出を避けること。

- (応急措置) : 飲み込んだ場合：医療処置を受けること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚（または髪）に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を多量の水で洗うこと。
汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
すぐに救急の医療処置を受けること。
眼に入った場合は水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
皮膚刺激または発疹が生じた場合：医療処置を受けること。
ばく露またはその懸念がある場合は、医学的助言を求めること。
気分が悪い時は、診察を受けること。
漏出物を回収すること。
- (保管) : 施錠して保管すること。
(廃棄) : 内容物や容器は地方公共団体条例等に従って廃棄すること。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分及び含有 : 塩化ジデシルジメチルアンモニウム 20.0 g / 100 mL 含有製剤
主成分の化学名 : 塩化ジデシルジメチルアンモニウム
Didecyldimethylammonium chloride
主成分の化学式 : $C_{22}H_{48}ClN$
主成分のCAS No. : 7173-51-5
化管法 : 管理番号：642, 2021年改正 政令番号：1-224

他に溶剤として、エタノール、水を含む

4 応急措置（パンボックス200）

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移す。必要な場合は医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部は直ちに石けんで洗い落とし、多量の水で洗い流す。異常を感じた場合は医師の診察を受ける。
眼に入った場合 : 直ちに多量の水で眼を洗浄し、眼科医の手当を受ける。
飲み込んだ場合 : 使用者等が本剤を誤って摂取した場合は、吐き出させないですぐに医師の診察を受ける。

5 火災時の措置（パンボックス200）

適切な消火剤 : 水、粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス消火剤、乾燥砂
使ってはならない消火剤 : 特になし
特有の危険有害性 : 熱分解により有害ガスが発生する恐れがあるので注意する。
特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火活動は風上から行う。
周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。
消火を行う者の保護 : 個人用保護具を着用すること。

6 漏出時の措置（パンボックス200）

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 : 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 接触を避けるためゴム手袋、保護マスク及び保護メガネを着用の上、漏出液をおがくず、ウエス等に吸着させてから容器内に回収し密閉する。その後、大量の水を用いて洗い流す。この場合、溶液等を大量に含んだ廃液が環境や水系を汚染しないように注意する。
回収・中和 : 利用可能な情報はない。
二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

7 取扱い及び保管上の注意（パンボックス200）

取扱い上の注意 : 取扱う前には必ず使用上の注意を良く読むこと。

- 作業場の換気を十分に行い、保護メガネ、保護手袋等の適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。
- 火気注意。
- 強酸化剤との接触は避ける。
- 取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをする。
- 保管上の注意 : 直射日光を避け、通気の良い場所で密栓保管する（35℃以下での保管が望ましい）。
- 鉄など金属に対し、腐食性があるので注意する。
- 冬期（5℃以下）で白色沈降物が発生するが、品質には異常はない。
- 誤用を避け、品質を保持するために、他の容器に入れかえない。
- 小児の手の届かないところに保管すること。

8 ばく露防止及び保護措置（パンパックス200）

- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 未設定
 米国産業衛生専門家会議（ACGIH） 未設定
- 管理濃度 : 作業環境評価基準 未設定
- 設備対策 : 作業場の空気を汚染しないように、換気を適正に行うことが望ましい。
- 保護具 : 適切な呼吸器保護具、保護手袋、眼の保護具及び保護衣を着用すること。
- 衛生対策 : 取扱う前に表示されている事項をよく読むこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

9 物理的及び化学的性質（パンパックス200）

- 外観 : 無色～淡黄色澄明の液体
- 臭い : 特異な臭いを有する
- pH : 5～8
- 融点・凝固点 : データなし
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 引火点 : データなし
- 蒸発速度 : データなし
- 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 比重（相対密度） : データなし
- 溶解度 : 水に可溶
- n-オクタノール/水分配係数 : データなし
- 自然発火温度 : データなし
- 分解温度 : データなし
- 動粘性率 : データなし
- 相対ガス密度 : データなし
- 粒子特性 : データなし

10 安定性及び反応性（パンパックス200）

- 安定性 : 室温保存において使用期限内は安定である。
- 反応性 : 強酸化剤とは激しく反応するため、混合、接触は危険。
- 危険有害反応可能性 : データなし
- 混触危険物質 : データなし
- 危険有害な分解生成物 : データなし

11 有害性情報（パンパックス200）

- 急性毒性 : 経口 LD50 170.3 mg/kg（ラット）（塩化ジデシルジメチルアンモニウム）
 その他文献情報から製剤として区分4とした。
- 経皮 : データなし
- 吸入 : データなし
- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 文献情報から製剤として区分1Cとした。
- 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 文献情報から製剤として区分1とした。
- 呼吸器感作性 : データなし
- 皮膚感作性 : 文献情報から製剤として区分1とした。

生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: 文献情報から製剤として区分 1 A とした。
生殖毒性	: 文献情報から製剤として区分 1 A とした。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 文献情報から製剤として区分 1 (全身毒性) とした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 文献情報から製剤として区分 2 (中枢神経系) とした。
誤えん有害性	: データなし

1 2 環境影響情報 (パンパックス 200)

生態毒性	
水生環境急性有害性	: 文献情報から製剤として急性 1 とした。
水生環境慢性有害性	: 文献情報から製剤として慢性 1 とした。
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層有害性	: データなし

1 3 廃棄上の注意 (パンパックス 200)

残余廃棄物	: 残余廃棄物は環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に 従い処分すること。
汚染容器及び包装	: 空容器等は環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に 従い処分すること。

1 4 輸送上の注意 (パンパックス 200)

国内規制	陸上	: 該当しない
	海上	: 船舶安全法の規制に従う
	航空	: 航空法の規制に従う
その他		: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がない よう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

1 5 適用法令 (パンパックス 200)

医薬品医療機器等法	: 動物用医薬品
化管法	: 第 1 種指定化学物質 ジデシル (ジメチル) アンモニウムの塩 (管理番号: 642, 2021 年改正 政令番号: 1-224)
安衛法	: 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務 物質 (皮膚刺激性有害物質) ジデシルジメチルアンモニウムクロリド (2024 年 4 月 1 日から適用)
毒劇法	: 該当なし
消防法	: 該当なし
危険物船舶運送 及び貯蔵規則	: 該当なし

1 6 その他の情報

引用文献	
	独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
	独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所ホームページ
	化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂 9 版
	J I S Z 7 2 5 2 : 2 0 1 9 及び J I S Z 7 2 5 3 : 2 0 1 9
	フジタ製薬株式会社 社内資料

※この SDS は改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には予告なく追加または訂正をいたしますので必要の都度最新の SDS をご確認いただけますようお願いいたします。